

高坂小学校の大規模化への対応について「第2回 高坂地区住民説明会」報告

平成28年10月18日

東松山市教育委員会

1 日 時 平成28年10月14日（金） 18:30～22:15

2 場 所 高坂小学校体育館

3 参加者 【教育委員会】

《説明・質疑対応》

中村教育長 澤田教育部長 関口教育部次長 今村教育部次長

鈴木学校教育課長 野口教育総務課長 小見学校教育課主査

【教育委員】

2名参加（教育長含）

【審議会委員】

15～20名出席

【住民】

約150名

4 審議会報告 一資料（第2回審議会資料）一

（1）今後の児童増に伴う「教育環境の悪化」について

（2）地域からの要望・意見書に対しての教育委員会事務局としての方針及び、9月議会における市長・教育長一般質問答弁

（3）第2回審議会内容報告

5 資料説明 一資料（第2回審議会資料）一

6 意 見

○ 通学路の安全整備が万全でない中で通学区域の変更はあり得ない。通学路上での危険項目を実地調査等で把握した上で整理し、それに対する対策に万全を尽くすべきである。平成30年度実施では、それらの対応が間に合わないという不安を感じている。

■ 議会での承認をえなければならないが、平成30年度まで新東松山市橋上には横断防止柵の設置を、また、農民センターから桜山台に至る道路にはグリーンベルトの設置を行う、さらに安全指導員をそれぞれ1名ずつ配置する。合わせて住民の協力を得ながら交通規制などの対応なども進めていく。

○ 平成27年度の5月に総合教育会議の席上で今回の学区編成の話が出ているが、それ以降具体的な話し合いを持った形跡がない。また、地域住民にも何等の説明もないままに学区の再編成を行おうとしていることに不安と憤りを感じる。

■ 24年度の際に「通学区域の再編成は行わない」という答申を尊重し、教室増という対応を行ってきた。また、今年度の総合教育会議で2回に渡り通学区域の問題について話し合いを持った。

○ 越谷レークタウンでも同じような通学区域の変更を行ったので、問い合わせしてみたところ、事前に説明会を何度も行ったり、兄弟関係を調査したり、交通指導員を別枠で配置したりするなど対応が丁寧である。それに対して東松山市の場合、あまりにも強硬過ぎる。もっと時間を掛け、住民に寄り

添って話を進めてほしい。

- 地区別説明会で具体的な話を聞いていきたい。
- 来年度の予算編成を、今、行っているはずである。住民から安全対策面での要望がたくさん出ているのに、予算措置ができないものがある（対応不十分）中での通学区域の見直しは考えられない。子供たちの命をどのように考えているのか。
- 予算措置を行えるよう関係部署を協議している。議会の承認を得なければならないので、具体的な数字等をお伝えすることはできないが、市としても通学路の安全対策は最優先で進めていく。
- 本日は、審議会委員も15～20名程度来ているので、このような住民の不安や悩みを理解した上でしっかりと審議してほしい。
- 本日、出席できなかった委員には、会議録やビデオ等をお渡しし地域住民の生の声を伝えていく。
- 中学校の学区も合わせて変更になるわけだが、部活動の数が少なすぎる。強制的に小さな学校に行けという選択肢しかないことには納得できない。
- 今後、白山中学校へ行く生徒が増えることで学級数が増えれば教員の数が増え、新しい部活動が出来る可能性がある。

7 連 絡

(1) 地区別説明会について

- 西本宿第二・米沢地区説明会
平成28年10月30日（日） 15：30～17：30 西二公会堂

- あずま町1・4丁目説明会
平成28年11月13日（日） 15：00～17：00 高坂図書館
総合会館4階多目的ホールB

- 西本宿第一地区説明会
平成28年11月 5日（土） 19：00～21：00 西本宿農民センター
18日（金） 10：00～12：00

- 毛塚地区説明会
平成28年11月19日（土） ~~10：00～12：00~~ 高坂市民活動センター
または 毛塚公会堂
17：00～19：00